

グリーン

木くずや廃プラスチックのリサイクルを進めるグリーン(横浜市、藤枝慎治会長、☎045・769・2526)

は、フィリピン・セブ島での廃プラスチックリサイクル事業において、世界第2位のセメント生産量を持つCEMEX社と燃料供給契約を締結し、4月10日同社みなとオフィスにて調印式を行った。

同社は2012年横浜市Y-PORT事業によるビジネスマッチングに参加し、その後、横浜市国際局および資源循環局、国際協力機構(JICA)および(公財)地球環境センタ

ーからの支援のもと、自治体が収集したごみとで1日に50〜75トンの17年5月に現地工場のを同社の工場で選別 廃プラスチックからの99トンのCO₂排出量 ロジエクトは地球温暖化の問題と廃プラリサ

CEMEXと燃料供給契約

フィリピン、セブ島での事業



中央左が藤枝慎治会長、中央がCEMEXグループのPenāflor氏、中央右が小西武史専務

能。製造した フラフ燃料に 収集のスキーム構築 やリサイクルの普及啓 決していく重要な事業 についてはCE 発などには横浜市が協 となる。CO₂排出量 MEX社傘下 力し、また本事業によ の削減と廃プラスチック のAPOセメ 地域には30人以上の のリサイクル促進に ント社が購入 雇用が生まれ、経済的 CEMEXグループと し、使用して な波及効果が生まれた 共に貢献できることを いる。今年1 他、埋立量の削減、洪 喜ばしく思う」と述べ 月には自治体 水災害などの悪化防止 た。またPenāflor氏 からの受け入 が進んでいる。 は「持続可能性はわれ れ量が増加 調印式では日本、フ われの事業の基盤であ し、現在、自 イリピンの国歌斉唱か り、本契約に署名する 治体からは毎 ら始まり、グーンの小西 ことは持続可能なコミ ヲの廃プラ類 武史専務とCEMEX ットメントに署名する を受け入れり 社フィリピン代替燃料 ことだ。パートナーシ サイクルして 担当部長Rowell NP プを結んだことを誇 いる。本事業 署名した。藤枝会長は りに思う」と話した。

廃プラ類をフラフで